

大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN

令和4年(2022)

皇紀2682年

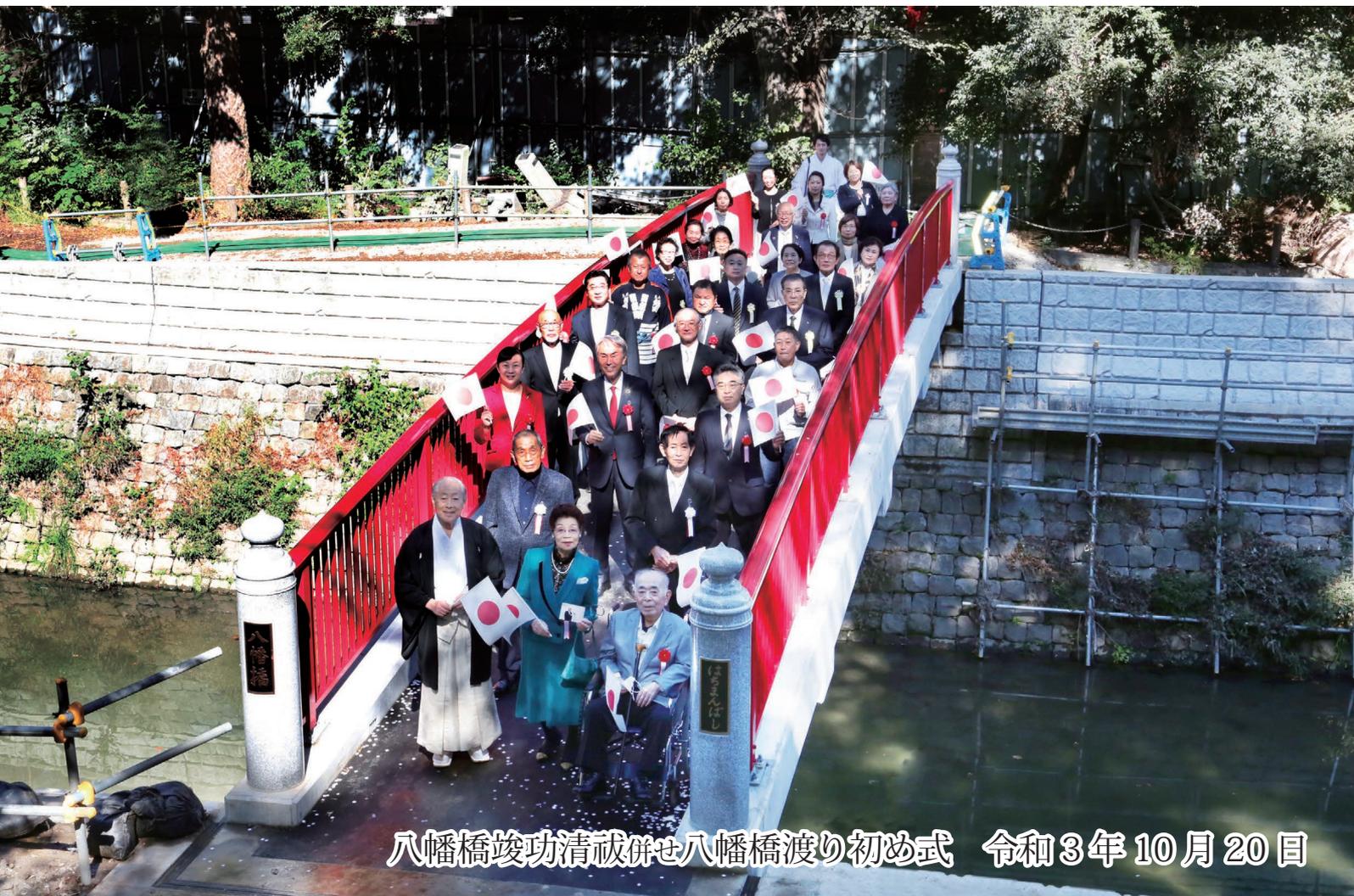
新型コロナ大禍 終熄退散祈願

令和4年新春号【第122号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>

主な目次

年頭所感	2頁
新春初詣	3・4頁
早春の行事	5・6頁
杜の話題	7・8頁
第8回フォトコンテスト入選作品発表	9頁
初宮詣芳名・どんぐり通信	10・11頁
正月社頭ガイド (オンライン授与所・インスタグラム)	12頁



八幡橋竣功清祓併せて八幡橋渡り初め式 令和3年10月20日

令和4年の壬寅歳の新春に当たり

謹んで皇室を中心とする国家の隆昌と
氏子・崇敬者各位のご清福を熟禱申し上げます

宮司 鎌田 紀彦

歳末になってようやく新型コロナウイルス禍も下火になった感じが致しましたが、新種のオミクロン株が発生、日本へもおしよせて来そうです。水際作戦でくい止められ、清々しい新年を迎えられることを願ってやみません。新年も昨年同様コロナ対策を講じながら神明奉仕を致して参りたいと願っております。

昨秋、善福寺川(御手洗川)に架かる八幡橋(神橋)が去る10月20日に架替工事が竣工し、清祓い併せ渡り初め式が行われました。(今号の表紙の写真)当宮の北参道入り口に面しています。

当宮は大宮台地の岩盤上にありますが、その北側を湧水の善福寺池より発した善福寺川(自然湧水の川)が東京湾へ流れ込んでいました。往古の東京湾は川口近くまで来ており、所謂海人族が房総方面より湧水を求めて遡上し川沿いに住み始め、集落を形成する様になり、高台(当宮鎮座地)には族長の住居や墓所がありました。川向こうの松ノ木や方南方面で住居跡が沢山発掘されております。(松ノ木遺跡として、松ノ木中学校付近の高台に当時の住居が復元されています)昭和44年、八幡橋より坂道を登った北参道入口付近でも族長の方形周

溝墓が発掘され、3基を発掘し勾玉や玉飾、祭祀用土器等が出土しています。

また、元境内の高千穂大学の学生会館建設地でも族長の住居跡が発見されており、この地が太古(弥生時代)からの聖域であったことも分かりました。

尚、八幡橋の川上に御供米橋があります。神様にお供えするお米を御供米と言います。昭和8年、この地が和田堀風致地区に指定され、大宮八幡園が開園し、ウォーターシュート等遊具のある八幡池と対岸(神社側)のツツジ園を結ぶ橋として架けられました。昭和初期の神饌田(水田)とゆつたりと流れている善福寺川に架けられている丸太橋(御供米橋より見たる境内の全景)の写真をご覧下さい。



丸太橋(御供米橋)より見たる境内の全景

因みに、当宮の境内地は江戸時代

6万坪、明治時代3万坪、現在は1万5千坪あります。

当時すでに風致地区として地域の自然を守ろうと、今で言うSDGs(持続可能な開発目標)にも通じる様なことに当時の氏子の方々が実行されたことに敬意を表する次第であります。

30年程前まで、西欧諸国では自然界は我々の為に存在し、大いに利用すべきであるとの思想からどんどん開発されていきましたが、自然は有限であることに気付き始め方向転換をしています。

一方、我が国は自然界は我々とともにあり、共に生かされ共存共栄をしてきたのであります。

コロナ禍で少子化が加速する日本。日本と同様に少子化問題に直面しながらも、その後のV字回復に成功したフランス。

「子育て世代に対する厚遇を支えるのは『子どもは社会で育てるもの』という、国民の共通理解だ。『親の義務』から『社会の責任』へ子育て先進国・フランスに学べ」との高崎順子氏(在仏ライター)のウェッジレポートを掲載した月刊誌ウェッジ(12月号)が新幹線の車内で目にとまりました。

「今の日本が手がけるべきは、子育てを『親の義務』という固定観念から解き放ち、『社会の責任』へと昇華することだ。子育て支援予算の倍増にはその理念がセットであらねばならない」とフランスの事例は強く示唆している」

と述べられているのです。

我が国では、先の戦いで敗戦になるまで「向こう三軒両隣」と近所付き合いを大切にしてきました。

また明治の初め頃、外国人が日本国内を旅した時のことを日記に書かれているのを読んだことを思い出しました。「まず道案内する人が清潔で親切であること、どこへ行っても近所の人達が一緒になって子育てをしている様子など、子供達が明るく生き生きとして幸せそうである。全世界中でこの様なすばらしい国は見たこともない」と感想を述べているのです。

日本では古くより子は宝として大切に育てており、その様子を古典万葉集で知ることができます。

『萬葉集』(巻五)
山上憶良子等を偲ぶ歌并短歌

うりはめばこどもおもほゆる
くりはめばましてしぬばゆ
いづくよりきたりしものぞ
まなかひにもとなかかりて
やすいしなさぬ

反歌

銀も金も玉もなにせむに
まされるたからこにしかめやも

『神典』(大倉精神文化研究所)

物、心両面でフランスに負けない子育てをしたいものであります。

(令和3年12月14日記)

新春献燈提灯奉納のご案内

新春の期間、1月1日～2月3日まで、皆様のお名前を入れた献燈提灯を掲出させていただきます。新型コロナ禍のなか、世の中が少しでも明るくなるように祈念してご社頭を賑々しくお飾りします。



明けましておめでとうございませす
令和四年元日
二日 小笠原流除魔神事 墓目の儀・大的式

2日午前には小笠原流ご宗家による**新春除魔神事・墓目の儀**・大的式が奉納されます。墓目の儀では墓目鳴鑼矢の「ヒュー」という霊妙な風切り音により魔障が退散するといわれ、弓威により新型コロナウイルス禍の妖雲を祓うことを祈念し奉納されます。3日には、皇位の大元始を寿ぐ**元始祭**を斎行。こうして大宮八幡宮の一年が始まります。

元日午前零時、宮司の打ち鳴らす初太鼓が境内に鳴り響き新しい一年が始まります。新春を祝うご参拝の皆様が長い列が拝殿前へと続く中、**新春厄除開運初大祈願祭**（一番祈禱）が宮司奉仕にて斎行され、次いで新春初祈願祭が2月3日の節分まで奉仕されます。午前7時には**歳旦祭併せて新型コロナウイルス大禍終熄退散祈願**が斎行され、皇室の弥栄、五穀豊穰と国民の安寧を祈念致します。

令和4年

新春の祭典と主な行事

- 1月1日 新春厄除開運初大祈願祭（一番祈禱）併せて新型コロナウイルス大禍終熄退散祈願
 - 1月2日 小笠原流墓目の儀・大的式
 - 1月3日 元始祭
 - 1月7日 昭和天皇祭遙拝
 - 1月15日 古神札焼納祭（とんど焼き）
 - 1月25日 初天神大祭「大宮天満宮」
 - 1月26日 文化財防火デー消防演習
 - 2月3日 節分祭
 - 2月10日 初午大祭「大宮稻荷神社」
 - 2月11日 紀元祭
 - 2月23日 天長祭
 - 2月25日 梅花祭「大宮天満宮」
 - 3月21日 春季皇霊祭遙拝
 - 3月下旬 大宮八幡桜まつり
 - 4月上旬 大宮八幡宮わかば祭り（春の大祭）
 - 4月3日 神武天皇祭遙拝・本宮遙拝
 - 4月29日 昭和祭・春の弓道奉納射会
 - 5月3日～5月5日 大宮八幡宮わかば祭り
- 第一日ノ儀 こともの祭り・稚児行列 (3日)
第二日ノ儀 植樹祭(苗木配布) (4日)
当日祭(尚武祭) (5日)
- 5月16日 御嶽様名神社例祭「御嶽様名神社」
5月21日 裏千家献茶式
6月3日 神功皇后祭
毎月1日 朔日祭（じなたでもし自由により）
毎月15日 月次祭（ご参列出来ませす）
毎月25日 大宮天神月次祭

毎月・お朔日参りを致しませすよう

謹賀新年 令和四年元旦

大宮八幡宮 代表役員宮司 鎌田 紀彦

責任役員 藤枝 宏友 内山 誠一 瀨沼 宏章 玉村 恭男 鈴木 憲章 末柄 哲男

議長 丸山 光俊 葉梨 俊郎

監査 笠原 紀一 瀨沼 年男 細野 修三

総代 大宮地区 荒井 昭一 古屋 進一 五本木 勝 末柄 哲明 根岸 政明

方南南地区 三枝 治太郎 丸山 光男 齋藤 恵一 内山 誠一 山崎 政義 相川 雄一

方南北地区 岩崎 太良 齊藤 美夫 鈴木 憲章 岩田 一豊 細野 修三

松ノ本地区 太田 正年 瀨沼 宏章 瀨沼 邦之 松島 敏夫 井島 穰 小川 次郎

大宮八幡宮敬神婦人会 会長 鎌田 民枝

大宮八幡宮氏子青年会 会長 井川 邦夫

兼務神社総代会長 堀ノ内熊野神社 渋谷 達雄

成宗白山神社 岩田 和保

尾崎熊野神社 安藤 雄次

和田東地区 梅田 清彦 横尾 信彦 佐野 晃央 岩船 守一 笠原 紀一 藤枝 恭男

和田西地区 藤枝 宏友 池田 純一 森川 麗子 葉梨 鐘司 春原 俊郎

大宮八幡宮敬神婦人会 (りんどう会) 会長 鎌田 民枝



令和4年 幸せ祈る初詣

新型コロナウイルス感染症対策にご理解とご協力を



新春を迎え、当宮に初めてお詣りされる日があなたの初詣!!(三が日を避けて分散型の初詣にご協力下さい。)
尚、新春初祈願祭は二月三日の節分までご奉仕致します。

境内・授与所では

お出かけ前に検温、マスクの着用をお願い致します。

手水舎では、流水での手水をお願い致します。
(但し7日より)

お札、お守りは例年の通り授与所でお頒ち致します。
授与品は授与品番号をお申し出ください。
ご朱印は書き置いたものをお渡し致します。

振る舞い酒は中止致します。

拝殿前混雑緩和のため、「一方通行」にご協力ください。

職員はマスクを着用させて頂きます。



手水舎
(但し7日より使用)

ご祈禱・昇殿参拝では

受付

受付所には、窓口に透明シートを設置しています。
また、受付後の検温にご協力ください。
昇殿前の手水は行わず、手指の消毒を以てこれに代えさせて頂きます。

拝殿へ

臨時の外拝殿参列席を増設致しております。適度な間隔を保ちながら、例年同様のご昇殿が可能です。
暖房機を稼働させますが、通気をよくするため、ご社殿の窓を開放させて頂きます。

祈願祭

ご社殿内での密をさけるため時間を短縮して、巫女舞はありませんが、大御恵をお授けする「息長おきながの鈴による鈴振り神事」を行います。
また、多くの方が手を触れる玉串は使用せず、皆様にはご一緒にご拝礼頂きます。

お札・直会

ご神札・ご神饌のお渡し所では、混雑を避けるため、職員の誘導にご協力をお願い申し上げます。
ご予約参拝以外、お札にお名前は入りません。

ご祈願祭後の清涼殿での直会はありませんので、ご自宅にて、ご神饌としてお渡しするご神酒をお受けください。



臨時参列席



鈴振り神事



ご神札・ご神饌お渡し所

大宮八幡宮の大神様のご加護を戴いて、健康で明るい1年となりますようお祈り申し上げます。

大宮八幡宮 早春の行事

新春恒例の除魔神事、 墓目の儀・大的式

初春の年頭にあたり、恒例の弓の除魔神事である墓目の儀・大的式が、小笠原流ご宗家一門の方々により、1月2日午前10時に行われます。矢先につけた墓蛙に似た鐙の形を墓目といい、射ると「ヒュー」という霊妙な音が鳴り魔障を退散させると言われています。大的式は、約1500年前、清寧天皇の御代に射を行ったという日本書紀の記述に基づき、公家・武家に伝わる重儀であり、いずれも当宮の新春恒例の天下泰平・国家安泰を祈念する弓始めの神事です。



古神札焼納祭(とんど焼き)齋行

小正月の伝統行事、古神矢・古神札等焼納祭(とんど焼き)が、1月15日睦月月次祭に続けて齋行されます。古く宮中では小正月に清涼殿東庭で吉書(よきか)を焼く左義長の儀式が行われました。当宮ではこの故事に基づき、社殿にて

まず睦月月次祭に併せて焼納奉告祭を行います。

続いて午前11時半より拝殿前特設齋場にて焼納祭を齋行します。

ご参拝の皆様がお納めになった古神矢・古神札・守札・注連縄等が齋場に積み上げられ、先ず古式に則り火鑽神事が行われ熾された浄火により点火。燃えさかるお焚き上げの忌火を前に宮司以下神職が大祓詞を奏上、参列の皆様を始め氏子崇敬者各位のこの一年の除災招福を祈ります。また境内では、当宮敬神婦人会(りんどう会)により「厄除せんざい」が浄火によって炊かれ、振る舞われます。



とんど焼きにご協力をお願い

ご神札等をお納め頂く際に全て点検・選別させて頂き、**神社関係以外のもの・燃えないもの・有毒物質の発生の恐れのあるもの(プラスチック製品等)・包装紙**は、その場でお持ち帰り頂いております。

◆**お守り・古神矢・古神札類(他の神社のもの)**及び正月飾りのみお預かり致します。

◆人形類は、別途社殿におきまして人形感謝祭を齋行してからお納め頂きますので、直接祈願受付所へお申し出下さい。但し、ぬいぐるみはお預かり出来ません。

成人奉告祭のご案内

新年を迎え新たに成人したことをご神前に奉告し、神明の御加護のもと社会の一員としての自覚を新たにされる**成人奉告祭**を随時ご奉仕しています。ご祈願の**新成人**の皆様には宮司揮毫の干支絵馬を特別授与致しております。新成人の皆様のご参拝をお待ちしております。

大宮天満宮初天神大祭

1月25日午前10時より**初天神大祭**が齋行されます。



御祭神であり学問の神様である菅原道真公に学業成就・技芸上達を祈願します。また、梅の香かおる「**梅ヶ香御守**」が社頭にて特別に授与されます。

文化財防火デー消防演習

昭和24年1月26日、世界最古の木造建造物である奈良・法隆寺の金堂で火災が発生し、壁画の多くが焼失しました。貴重な文化財が失われる事態を防ぐためこの日は**文化財防火デー**と定められ、消防署の指導のもと、**消防訓練**を行います。当宮自衛消防隊・杉並消防署・杉並消防団第二分団によりの毎年実施されます。午前10時、御社殿よりの出火を想定して通報、連絡、避難誘導、殿内より貴重品の持ち出し、初期消火等の訓練が行われ、社殿への**一斉放水**が大宮幼稚園の園児たちの見守る中、実施されます。

新春初祈願祭のご案内

元旦の午前零時、その年最初の祈願祭である「**新春厄除開運初大祈願祭**(一番祈棒)」が宮司奉仕により執り行われます。この祈願祭は、予め予約申込を頂いております。引き続き午前1時より新春の年頭に当たり氏子・崇敬者の皆様の新しい年のご繁栄をお祈りする**新春祈願祭**を行います。ご家庭や職場の皆様のご祈願に際して、2月3日の節分まで随時ご祈願祭をお受けしております。



また左記の時間の祭典及び、新春奉納行事などの参拝の際は終了までお待ち頂く場合がございますので、詳細は社務所までお尋ね下さい。

- 1月1日午前7時 歳旦祭
- 1月3日午前9時 元始祭
- 1月15日午前10時 月次祭

企業団体の祈願祭も

企業・団体様の仕事始めに合わせて、更なるご発展を祈る祈願祭もご奉仕しております。祈願祭にはご代表様・従業員の皆様お揃いのご昇殿頂きます。ご祈願を受けられ清々しい仕事始めと致します。

新春初祈願祭に限り、社頭の申込書に必要な事項をご記入の上、事前申込み頂きます。※新春初祈願祭では事前申込みの方のみご神札に祈願名と祈願者名を浄書させて頂きます。

節分祭(鳴弦の儀・豆撒神事)

立春の前日の節分は四季の変わり目の中でも特に重視されてきました。悪疫邪気を追い払う追儺神事は中国より渡来したもので、『続日本紀』には文武天皇の御代に疫病を鎮めるために行われたとの記述が見られます。当宮では節分祭を斎行し、平安時代宮中にて行われていた桃の弓、葦の矢、桃の杖にて鬼を祓う追儺の儀式に倣い、桃弓・葦矢で「天地・人」に潜む魔を射る除魔神事を行い、次いで社殿前にて宮司により妖魔を祓う鳴弦の儀が行われます。その後鬼のお面をつけた当宮幼稚園園児が参加して行われる豆撒き神事も微笑ましい節分の行事として親しまれています。



大宮稲荷神社初午大祭 本年は2月10日に

2月10日午後1時より大宮稲荷神社初午大祭が斎行されます。約1300年前の和銅4年の初午の日に京都伏見の峰に稲荷大



初午のぼり奉納募集

お稲荷様は、商売繁盛・家内安全のご利益のある神様です。本年も、左記により商売繁盛・家内安全等を祈願する「朱色のぼり」を大宮稲荷神社のご社頭に奉納賜りますようお願い申し上げます。

一、朱色のぼり 一口三、〇〇〇円
(出来れば二対一口以上でお願い致します)
のぼりには、ご氏名(又は会社名)を入れさせていただきます。



神が降臨されたという故事により全国の稲荷神社で初午祭が斎行されます。百数十本の鮮やかな朱色の初午のぼりが立ち並ぶなか、のぼり奉納者・崇敬者の参列のもと祭典が斎行されます。全国唯一の姉妹神社の竹駒神社も合祀されています。また、兼務社の堀ノ内熊野神社・成宗白山神社・尾崎熊野神社、境外社の谷中稲荷神社でも執り行われます。

紀元祭並びに檀原神宮遷拝



2月11日は建国記念の日(紀元節)で、全国各地で我が国の建国を尊ぐ諸行事が行われます。当宮では午前10時より紀元祭が斎行され、皇室国家の繁栄・国運の隆昌、世界の平和をご祈念申し上げます。引き続き清涼殿2階の特設齋場で神武天皇をお祀りする檀原神宮を遷拝して、「紀元節」の歌を奉唱後に聖寿万歳を致します。

天長祭並びに皇居遷拝

2月23日は天皇陛下の御誕生日にあたり、陛下の御長寿と国民の平安を祈る天長祭が午前10時より斎行されます。次いで、神門前広場に設けられた齋場にて皇居遷拝並びに聖寿万歳を執り行います。



勸学祭・ランドセルお祓い

子育て八幡様のご加護を戴き6年間の学業成就や学校生活の充実、交通安全を祈願する勸学祭を斎行し、これから毎日背負うランドセルをお祓いします。



小学校への入学は格別に印象深い人生の節目です。ご神前にてランドセルのお祓いを受け、心身共に清々しい気持ちで新生活を迎えましょう。

大宮八幡桜まつり開催

桜の開花する3月下旬から4月上旬、大宮八幡宮を中心とする和田堀公園(旧境内)一帯では善福寺川沿いの数千本の桜が一齐に咲き誇ります。

期間中の土曜・日曜は午後8時まで開門し、大宮八幡桜まつりを開催。夜間参拝と桜満開の和田堀公園への通り抜けができます。



新春厄除祈願祭のご案内

厄年は、古来人生の節目として特に気をつけなければならぬとされている年回りです。厄除けのお祓いをお受けになり、清々しい一年に致しましょう。

令和4年厄年表(数え年)

	男			女		
	前厄	大厄	後厄	前厄	大厄	後厄
性	平成11年生(24歳)	平成10年生(25歳)	平成9年生(26歳)	平成17年生(18歳)	平成16年生(19歳)	平成15年生(20歳)
	昭和57年生(41歳)	昭和56年生(42歳)	昭和55年生(43歳)	平成3年生(32歳)	平成2年生(33歳)	昭和64年生(34歳) 平成元年生
	昭和38年生(60歳)	昭和37年生(61歳)	昭和36年生(62歳)	昭和62年生(36歳)	昭和61年生(37歳)	昭和60年生(38歳)
性				昭和38年生(60歳)	昭和37年生(61歳)	昭和36年生(62歳)

※大厄の前年は前厄、後年は後厄にあたります。厄年に限らず、除災招福の厄除祈願を受けることができます。

杜の話題

大宮八幡祭り(秋の大祭)

昨年より終熄の目処が立たない新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、大宮八幡祭り(秋の大祭)は9月15日に例祭併せ氏子奉幣祭並びに新型コロナウイルス禍早期熄滅退散祈願祭が斎行され、皇室・国家の弥栄、併せて新型コロナウイルスの早期退散が祈願されました。また神社本庁より献幣使として東京都神社庁小野貴嗣庁長(小野照崎神社宮司)が参向され、**神社本庁幣を奉幣**、祭詞を奏上。次いで大宮・方南南・方南北・和田東・和田西・松ノ木の6地区の氏子より寄せられたご浄財が**氏子幣**として大前に奉献され、奉幣使瀨沼宏章責任役員が氏子祈願詞を奏上し、五穀豊穡の感謝と氏子地域の安寧をお祈り致しました。また19日には、若宮八幡神社・白幡宮例祭が斎行され、祭典終了後には清涼殿貴賓室にて、「**八幡太郎義家公御尊像**」に拝礼致しました。本年も神輿宮入をはじめ多くの神振行事が中止となりましたが、新型コロナウイルス禍早期熄滅退散を祈念して小笠原流宗家による弓の**神事草鹿式**が奉納されました。



第21回十五夜の神遊び

9月20日、第21回十五夜の神遊びが斎行されました。夕刻約1300基の竹燈籠に神職関係者等の手によって火が点され、**仲秋祭**を斎行。本殿では雅楽「越天楽」が、神楽殿では「浦安の舞」が奉奏されました。引き続き神楽殿にて**月の音舞台**が開かれ、尺八奏者き乃はち氏による新型コロナウイルス感染症終熄を祈念した奉納演奏が催されました。



国際平和デー 一分間報鼓

9月21日は国連が定めた国際平和デーにあたり、各会各派の垣根を超え世界の平和と世界の国々の連帯を祈念し、全国の社寺や教会、公園で鐘や太鼓が打ち鳴らされました。当宮にても正午より一分間、祈りの報鼓として大太鼓を打ち鳴らしました。

高井戸警察署 西島秀則署長来宮



高井戸警察署の西島秀則署長が、9月21日に新任挨拶のため来宮し、宮司と懇談致しました。

竹駒神社名譽宮司千葉博男様 宮司村田守広様来宮

10月22日、当宮と姉妹神社の関係を結ぶ宮城県竹駒神社名譽宮司であり、

当宮前宮司の千葉博男様が来宮、正式参拝されました。また11月20日には竹駒神社宮司村田守広様が来宮、正式参拝をされました。



神明中学校職場体験

神明中学校の2年生男女各2名が、10月27日〜10月29日の3日間、当宮で職場体験を行いました。神職の指導により白衣袴を着て、朝拝行事に参列。境内の説明から掃き掃除、授与所勤務、大祓詞の書写、紙垂切り体験など、神社でしかできない多くの体験をしました。

神宮大麻頒布式並びに 氏神神社神符等奉戴式

11月5日、初春を迎えるにあたり氏子崇敬者・立正佼成会会員の方々にお願いかちする**神宮大麻頒布式並びに氏神神社神符等奉戴式**が斎行されました。藤枝責任役員他総代、兼務神社役員、立正佼成会神札頒布責任者の中山侘子様及び森川順子様と代理として森川純一総代のご参列のもと、ご神前にて神宮大麻や各氏神大麻、大宮三宝荒神などの神札類の頒布始めを大神様に奉告後、各代表に授与されました。また12月中旬には神職が各ご家庭にお伺いして神宮大麻、氏神様のお札



三荒神様のご神札をお頒かししております。ご希望の方は、当宮社務所、もしくはお近くの当宮責任役員・総代にお尋ね下さい。各ご家庭や会社の事務所の神棚に新しいご神札をお祀りして清々しい一年をお迎えしましょう。

一人のお宮奉仕 御境内清掃奉仕



全国各地の神社にて清掃奉仕活動を展開している「**一人のお宮奉仕**」の活動が11月8日に行われました。今回は当宮における3度目の活動であり、13名が正式参拝の後、普段入ることのできない御境内へと足を運び、清掃奉仕活動を行って頂きました。午後には鎌田宮司が講話を行い、その後懇談会が開かれました。

社頭募金並びに大宮幼稚園 バザー売り上げ金 ユニセフへ献金

11月9日、鎌田宮司、大宮幼稚園父母の会石井紀子会長、三島由佳副会長がWCRP事務局を訪問。大宮八幡宮の社頭にて募った募金並びに大宮幼稚園にて開催したバザーの売り上げ金の一部をユニセフ代表者へ寄付致しました。その後、WCRP日本委員会事務局長の篠原祥哲様を中心に懇談会が開かれました。



三荒神様のお札
伊勢神様のお札
氏神様のお札
右中左

秋の実りに感謝 新嘗祭

11月23日午前9時より、新穀を八幡大神様にお供えし五穀豊穡を感謝する新嘗祭が宮司以下祭員奉仕により大祭式にて執り行われました。

責任役員、総代、りんどう会役員、氏子青年会役員、奉納者らの参列のもと斎行され、当宮幼稚園園児らが園内の稲田で丹精込めて育てた初穂や、サミット(株)、(株)J A東京中央センター、モニーセンターなど、氏子崇敬者の篤志の方々から献納された穀物や野菜果物などが庭積機代物として大前にお供えされ、収穫感謝の誠を捧げました。またご奉納頂いた献納品の一部は、宗教協力の一環として立正佼成会を通し、「杉並区の子ども食堂」へ寄付させて頂きました。



庭積機代物

大宮幼稚園園児画展



大宮幼稚園年中組の園児たちの「家族・大好きな人」をテーマにした89点の作品が、神門南側回廊に10月30日より11月30日まで展示されました。園児が家族連れで、自分や友人の作品を見学している姿が見られました。

サミット花笠祭り 写真展

例年12月の第2土曜日には、当宮とサミット株式会社共催の「杉並花笠祭り」が開催され多くの参拝者によって賑わいをみせていますが、昨年、本年と新型コロナウイルス感染症対策としてやむなく中止と致しました。地域の大きなイベントの一つとなっている花笠祭りの様子をお伝えしたく、サミット株式会社主催の花笠祭り写真展が12月11日に神門前手水舎横にて開催され、訪れた皆様にお祭りの雰囲気味わって頂きました。新型コロナウイルス感染症の熄滅退散により、来年こそ花笠音頭の元気の良い掛け声が聞けるよう願ってやみません。

第43回杉並大宮菊花展

10月30日より11月23日まで第43回杉並大宮菊花展が開催されました。11月5日には杉並大宮菊の会主催のもと審査会が行われ、宮司賞以下が選定されました。第43回杉並大宮菊花展表彰式は12月15日に執り行われました。



第43回杉並大宮菊花展受賞者

- | | | | |
|------------|----------|-------|----|
| 宮司賞 | 精興柏木 | 榎田 | 晃一 |
| 杉並区長賞 | 聖光紫玉 | 吉田 | 光治 |
| 杉並大宮菊の会会長賞 | 玉光院 | 吉田 | 晴美 |
| 大宮八幡宮責任役員賞 | 国華船屋 | 松尾 | 和雄 |
| 京王電鉄賞 | 国華大日 | 庄司 | 光治 |
| サミット賞 | サンセットイワキ | 吉田 | 光治 |
| 審査委員長賞 | 泉郷情熱 | 中村幸之輔 | |
| 金賞 | 天女名所 | 青木 弘次 | |
| 新人賞 | 精興綾姫 | 山田 恭子 | |
| 新人賞 | ドーム紫 | 安濃きみ子 | |
| 新人賞 | 小梅ちゃん | 郡司 典子 | |

八幡橋竣功清祓併せ八幡橋渡り初め式



10月20日、当宮の旧境内地である和田堀公園にて架け替え工事が竣功した八幡橋の渡り初め式が斎行されました。宮司以下神職、当宮責任役員総代をはじめ八幡橋の竣功にご尽力頂いた多くの関係者や、近隣の方々、大宮幼稚園の年長組の園児らが参列しました。

平成25年より始まった善福寺川整備事業による護岸工事に伴い、以前の橋は撤去されましたが、関係者らのご尽力により、太鼓橋に朱塗りの欄干、4本の親柱には擬宝珠が取り付けられました。真新しい八幡橋は欄干以下祭員によって祓い清められた後、宮司以下参列員が渡り初めを行いました。



りんどう会だより

御垣内清掃

9月11日、秋の大祭を控え、御垣内の清掃が行われました。鎌田会長以下14名の会員の手により隅々まで掃き清められました。



氏子青年会だより

12月26日、年末恒例の門松づくりが行われ、新春を迎える準備をしました。また、令和4年に当会は結成10周年を迎え、5月29日には10周年記念式典が予定されています。



毎月お朔日参りには 月代り御幣守護を!!

当宮では古くより朔日(二日)、十五日に月参りをされる方が多く、こうした方々に年間を通じて八幡大神様のご神威をお受け頂くとうと、毎月のお朔日祭に併せてお朔日参り大御幣振り神事のご祈願を奉仕して月代りの御幣守護を授与致しております。月毎にお申し込みの場合は初穂料三千元、年間一括でお申し込みの場合は初穂料三万円にて斎行させて頂いております。



野村幻雪(野村四郎)様逝去

観世流シテ方楽師で人間国宝の野村幻雪(野村四郎)様が8月21日に逝去されました。野村様は当宮御鎮座九百四十年(平成15年)より10年間杉能会主催の大宮八幡新能をご奉納戴く他、一昨年末まで初太鼓のち、神能「翁」を奉納され新春を寿ぎ、天下泰平、国土安穩をお祈り頂いております。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

大宮八幡宮 第8回フォトコンテスト 入選作品発表

宝司賞(最優秀賞)



『お父さん、コロナ退散するといいいね』

畠山敏郎

審査委員長賞(優秀賞)



『初詣のお浄め』 新井一夫



金賞



『かぐや姫誕生』 鈴木敬子

銀賞



『ほの灯り』 早川幸子

銀賞



『花辛夷』 小竹秀雄

第8回大宮八幡宮フォトコンテストが

開催され、7月31日までに大宮八幡宮の四季折々の風景や、祭礼行事を写し撮った14名、47点の作品が寄せられました。8月25日には、杉本恭子審査委員長をはじめ、宮司・審査委員各位の厳正なる審査の結果、最優秀作品1点、優秀作品1点ほか各賞が選出されました。また、9月20日には正式参拝の後、大宮八幡宮清涼殿「蓬莱の間」にて表彰式が行われました。各賞が次々に発表され、杉本審査委員長より講評、各作品のポイントや撮影のコツなどのアドバイスがなされました。尚、当日は夕刻より「第21回十五夜の神遊び」が行われ、澄み渡る秋の夜空に昇る月灯りの下、受賞者の方々は竹燈に照らされた境内を散策、しばしの撮影会を楽しみました。

銅賞



『雪の日』 高柳寛也

銅賞



『夏の始まりに…』 古賀郁

銅賞



『八幡鳥居』
笑い籠 小川明美

第9回 フォトコンテスト 作品募集中

当宮の自然や行事風景を、プロ・アマ問わず写真愛好家の方々の目で写し撮って、その作品を八幡大神様にご奉納頂きます。大宮八幡祭り(秋の大祭)期間中に展示し、ご参拝の皆様楽しんで頂きたく、昨年に引き続きフォトコンテストを開催致しております。

応募期間 令和3年8月1日～
令和4年7月31日

募集サイズ: 2L・4ツ切りサイズ

大宮八幡宮に係った作品であれば、風景・人物・行事等テーマは自由です。但し、各神事での撮影禁止事項をお守り下さい。
応募作品は一人につき5点までです。
詳細は、社頭やホームページ上に要項をご確認下さい。

協力写真店

フォトグラフ三光堂(大宮八幡宮入口)
カメラハウス本店(久我山)

※入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用权は主催者に帰属するものとし、展示や当宮の出版物・広報・インターネット等に無償で使用させて頂きます。(※各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させて頂きません。)

初宮詣り名簿

(令和3年7月21日～11月20日)

お子様のお健やかな成長をお祈り致します

*:令和3年3月21日～7月20日

- 仲村紘* 小松誠也
- 高屋彩翔* 大内優陽
- 西野結翔* 山室友乃
- 島内優介 小川寧々
- 佐川ちなみ 菅原美結
- 佐々木紀羽 村越陽都
- 成田有杏 黒谷葵生
- 田中綜一郎 奥村鷹亮
- 小柳美夏 水元悠一
- 高山心優 北山朋樹
- 成松恒之助 須藤千世花
- 宮崎高 森紘華
- 新海百花 須藤千世花
- 楠木暖 市橋佳歩
- 藤澤のえみ 豊田凌士
- 小山陽菜咲 吉見風人
- 國江昌磨 野口陽向花
- 戸壽郎佳 古屋凛
- 簾綾太 岩城連太郎
- 樽井凜音 内田朱莉
- 高橋龍叶 小熊爽叶
- 梅本莉緒 小牧禅
- 宮下詩穂里 野田沙耶香
- 金子結太 下村奏司
- 金子祥人 佐藤巧和
- 前島祥人 山田茜
- 更原律 遠田心都
- 大高真遙 中山愛理
- 宮本怜於 眞野遥
- 眞野遥 眞野遥
- 平泉大和 矢澤怜久
- 溝部利子 黒澤珠月
- 安藤月 大林湖
- 嶋谷玄 山本大喜
- 林崎航也 仁科春紘
- 近藤稜 藤原菜葉
- 藤原菜葉 蓮見奈々
- 箱石麻緒 鈴木梨里花
- 黒田暖 萩庭玲香
- 岩浅充南 黒田楓一
- 松田悠太 濱田希空
- 末吉由空 梶山詩乃
- 石原晴天 田中祐成
- 増子結月 渡辺碧也
- 伊藤心侖 甲能拓幸
- 矢部稜真 甲能拓幸
- 青木敬汰 三瓶瑞
- 平手望羽 高津鳳織
- 千葉有紗 寺岡廉織
- 加藤菜々 上原日菜
- 山中まほろ 入山虹希
- 宮澤蒼空 柳田千聖
- 林玲花 丸田暁斗
- 菅原美結 田原成
- 黒谷葵生 熊田成
- 吉田雅叶 吉田結大
- 齋藤理 齋藤理
- 山口雅菜 山口結大
- 宇賀神里都 八木琳太郎
- 三嶋陽 宮城美海
- 北山知佳 成田千鶴
- 須藤千世花 知里燈
- 池田光佑 池田桃香
- 池田桃香 池田陽太
- 須藤千世花 熊田陽太
- 市橋佳歩 高橋央采
- 豊田凌士 佐藤蒼愛
- 吉見風人 三橋彌登
- 野口陽向花 西川なつ
- 古屋凛 橋口ももこ
- 岩城連太郎 服部心也
- 内田朱莉 池ヶ谷匠音
- 小熊爽叶 栗原沙綺
- 小牧禅 山口瑞季
- 野田沙耶香 飯田英仁
- 下村奏司 鈴木美央
- 佐藤巧和 鈴木美央
- 山田茜 鈴木美央
- 遠田心都 高丘暁生
- 中山愛理 大場健蔵
- 眞野遥 小幡三夕
- 眞野遥 岡本可和
- 平泉大和 渡辺莉央
- 溝部利子 垣田みなみ
- 安藤月 松井輝
- 嶋谷玄 小川結芽里
- 林崎航也 田島琉菜
- 近藤稜 松嶋恒松
- 藤原菜葉 山田一之完
- 箱石麻緒 灰原黎恩
- 黒田暖 合田光希
- 岩浅充南 阪衛緑
- 松田悠太 齋藤由紘
- 末吉由空 財津翔優真
- 石原晴天 和田夏芽
- 増子結月 濱野亮多
- 伊藤心侖 能見奈生
- 矢部稜真 柴田江
- 青木敬汰 小嶋颯輔
- 平手望羽 松土明叶
- 千葉有紗 勝保翠斗
- 坂口瑠一 秋山佑月
- 森皓星 東篤生
- 猪股煌 松本蒼大
- 齋藤慎 松本大駕
- 齋藤充希 網島悠漢
- 清水翠仁 芳永愛菜
- 下山朔太郎 山川潤士郎
- 糸井咲七 正木柚花
- 水谷信翔 奥富信
- 木下紗良 木下紗良
- 野野結仁 野野結仁
- 吉延尊亮 吉延尊亮
- 中村海斗 中村海斗
- 岡本周也 岡本周也
- 表美伶 矢壁薫
- 植木頼 櫻木琢
- 杉岡燈史 高橋大知
- 外山真紘 飯塚奈巳
- 信田朔弥 信田朔弥
- 森部杏菜 森部杏菜
- 塚尾由咲 上村希菜
- 上村希菜 上村希菜
- 渋谷沙月 高橋慶伝
- 高橋慶伝 高橋慶伝
- 福島琴子 足立涼
- 山本依平 山本依平
- 山田依斗 山田依斗
- 山田喜斗 山田喜斗
- 竹内蒼 竹内蒼
- 泉琴葉 泉琴葉
- 本郷琉斗 本郷琉斗
- 柴崎絵麻 柴崎絵麻
- 石田望人 石田望人
- 山本清瑚 山本清瑚
- 竹井律玖 竹井律玖
- 中山碧 中山碧
- 五十風暖 五十風暖
- 高橋未奈 高橋未奈
- 高橋令奈 高橋令奈
- 古屋光喜 古屋光喜
- 関口紡 関口紡
- 海老澤諤 海老澤諤
- 金安澤誠 金安澤誠
- 久野創志郎 久野創志郎
- 筒井陽大 筒井陽大
- 原島洋平 原島洋平
- 古賀聖渚 古賀聖渚
- 山田蒼空 山田蒼空
- 富士谷悠吏 富士谷悠吏
- 南谷結い 南谷結い
- 東篤生 東篤生
- 松本蒼大 松本蒼大
- 網島悠漢 網島悠漢
- 山川潤士郎 山川潤士郎
- 正木柚花 正木柚花
- 大山怜夏 大山怜夏
- 高橋蒼生 高橋蒼生
- 岡田玲音 岡田玲音
- 中島梨帆子 中島梨帆子
- 千野夏鈴 千野夏鈴
- 清田羽 清田羽
- 高橋由羽 高橋由羽
- 岡安遠真 岡安遠真
- 矢壁薫 矢壁薫
- 櫻木琢 櫻木琢
- 高橋大知 高橋大知
- 飯塚奈巳 飯塚奈巳
- 増澤翔 増澤翔
- 野口穂夏 野口穂夏
- 佐々木倭人 佐々木倭人
- 菅野心奏 菅野心奏
- 佐藤波留 佐藤波留
- 東藤杏 東藤杏
- 佐野木央梨 佐野木央梨
- 松本琴音 松本琴音
- 大熊慶也 大熊慶也
- 守屋日佳梨 守屋日佳梨
- 桐希林 桐希林
- 杉山直 杉山直
- 桐山凛 桐山凛
- 荒藤馳太 荒藤馳太
- 佐藤聡之 佐藤聡之
- 戸谷鈴音 戸谷鈴音
- 鈴木瑠夏 鈴木瑠夏
- 高木唯珠望 高木唯珠望
- 永井咲菜 永井咲菜
- 寺内志磨 寺内志磨
- 新井理帆 新井理帆
- 勝部謙心 勝部謙心
- 栗本航 栗本航
- 山根柚希 山根柚希
- 小六瑠貴 小六瑠貴
- 阿部詠月 阿部詠月
- 永田利心 永田利心
- 酒井暉仁 酒井暉仁
- 河合つぐみ 河合つぐみ
- 高利々彩 高利々彩
- 茂木英汰朗 茂木英汰朗
- 矢野偉大 矢野偉大
- 阿部創太郎 阿部創太郎
- 寺門泰良 寺門泰良
- 糟谷君 糟谷君
- 前田萌愛 前田萌愛
- 森叔椰 森叔椰
- 吉田健人 吉田健人
- 川島壘 川島壘
- 中倉海成 中倉海成
- 外石陽向 外石陽向
- 常盤葵 常盤葵
- 初鹿蒼治 初鹿蒼治
- 齊藤世夏 齊藤世夏
- 川添凜海 川添凜海
- 安西令央暉 安西令央暉
- 井川紗良 井川紗良
- 廣瀬佑史 廣瀬佑史
- 柳原秀生 柳原秀生
- 猪原奏舜 猪原奏舜
- 堀倉衣 堀倉衣
- 中村陽奈乃 中村陽奈乃
- 渡辺律香 渡辺律香
- 三谷恵大 三谷恵大
- 遠藤陽大 遠藤陽大
- 田中陽葵 田中陽葵
- 田川陽風 田川陽風
- 畑田晴 畑田晴
- 大川晴 大川晴
- 松浦咲菜 松浦咲菜
- 山崎優太郎 山崎優太郎
- 吉井優菜乃 吉井優菜乃
- 堀田美充希 堀田美充希
- 近藤かりん 近藤かりん
- 大柴瑠桜 大柴瑠桜
- 白井直 白井直
- 杉山直 杉山直
- 桐山凛 桐山凛
- 荒藤馳太 荒藤馳太
- 佐藤聡之 佐藤聡之
- 戸谷鈴音 戸谷鈴音
- 鈴木瑠夏 鈴木瑠夏
- 高木唯珠望 高木唯珠望
- 永井咲菜 永井咲菜
- 寺内志磨 寺内志磨
- 新井理帆 新井理帆
- 勝部謙心 勝部謙心
- 栗本航 栗本航
- 山根柚希 山根柚希
- 小六瑠貴 小六瑠貴
- 阿部詠月 阿部詠月
- 永田利心 永田利心
- 酒井暉仁 酒井暉仁
- 河合つぐみ 河合つぐみ
- 高利々彩 高利々彩
- 茂木英汰朗 茂木英汰朗
- 矢野偉大 矢野偉大
- 阿部創太郎 阿部創太郎
- 寺門泰良 寺門泰良
- 糟谷君 糟谷君
- 前田萌愛 前田萌愛
- 森叔椰 森叔椰



教諭 真藤 愛

新型コロナウイルスの感染対策を始めて2年目、今年の運動会は各学年分散で行いました。私たち年長組は秋の大祭での民謡踊り奉納や、神輿担ぎを終えてから練習を本格的に始めていきました。子どもたちにとって園生活最後の運動会になりますので「もっと練習しておけば良かった」ではなく「生懸命頑張った良かった」で終わられるようにしようね、と話し、当日まで頑張ってきました。

今回は3種目。1種目は選手宣誓ののち、オープニングとしてキラキラ光るポンポンを持ち「Keep on running」いう曲に合わせて元気に張り切って踊りました。オリンピックのイメージもあり、ブルーインパルスのお面を被って何人かが登場する



演出や、五輪カラーの大きな旗を振る場面もあったりと、とても盛り上がりました。2種目は組体操。6月より体操の先生から沢山の技を教えて頂いて3人組、6人組になり協力し合う大切さを学びました。一人だけが頑張っている絶対には成功しません。下で支える子は上に乗る子が落ちないように踏ん張り、上に乗る子は怖くても下で支えている子の為に最後まで踏ん張る。そつと降り降り出来るよう努力するなど、お互いが1つの技を成功させるという思いを持って頑張りました。クラスみんなで「新幹線」、学年全員で「虹」の大技に挑戦し、大成功！毎日真っ白になりながら位置を確認、技を成功させる為、頑張ってきた子どもたちの思いが成功に繋がりました。

最終種目は恒例のクラス対抗リレー！クラスで作戦を立て「1位になる」ことに向かって毎日毎日走る練習をしました。練習を続けることで走り方のコツを掴み、速くなったリレーの受け渡しが上手になりました。当初は練習する子、遊びたい子の間で気持ちの差も大きかったのですが、勝負をすればするほどそれぞれに変化が始め、クラスの団結が深まってきました。得意な子は差をちぢめられる様に頑張り、苦手意識のある子はみんなに負けないように頑張る。お互いが理解し合って気持ちを一つにどのクラスも本当に良い走りでした！

短い期間でしたが、みんなで沢山話し合いをしながら作り上げることが出来た運動会。子どもたちも私たちも充実し、思い出に残る運動会となりました。頑張ってきた事に自信を持ち、これからも色々な事に挑戦して欲しいです。そして、子どもたちに沢山のパワーを与え、毎日送り出して下さったお母様方に感謝の気持ち一杯です！又、コロナ禍の為、応援して下さいご家族の皆様には人数制限のご協力、有難うございました。

- 打越優奈 池浦瑛
- 白川誠士 中山紳斗
- 比嘉日穂 安藤泰一
- 只腰由唯 池島凌久
- 大宮伊織 池田利都
- 中村吏玖 市川誠児
- 永廣栄翔 太田宗佑
- 大中正弥 石井義浩
- 湊屋蓮華 中西葵大
- 長谷川潤 堀川樹生
- 林紗良 山岸蒼
- 下田一通 上村彩音
- 久保田みのり 中澤翔久
- 村中昂 加藤美莉
- 川邊由依 堀本葵
- 横奏翔 篠原綾希
- 小林翔平 伊藤紗夏
- 和和紗帆 山田明凛
- 山本瑞月 高倉大
- 松田光生 鈴木新快
- 川村沙英 大野すづ
- 島川愛未 齊藤颯真
- 長谷川紗那 西口優
- 有馬朱珠 飯泉優
- 山本蓮 飯丸七瑠
- 大室一織 石濱陸
- 山下耀都 足立瀬奈
- 金海翔太 桐原優佳
- 野地律希 白石翠香
- 林田勇進 柳原製緒奈
- 伊藤雛未 津野ゆずき
- 鈴木柳乃 津野ゆずき
- 高原淑乃 竹下大智
- 高原淑乃 早瀬碧人
- 津村陽斗 外岡詠太
- 菊池悠人 石毛柀吏
- 奈良律輝 関悠真
- 大口文都 佐藤広梧
- 山口碧斗 馬島蓮
- 吉崎和真 新内悦之
- 新内悦之 池添碧華
- 秋山蓮翔 中島実咲
- 山岸文月 中島碧仁
- 中川翔月 市川葵若
- 森下ころろ 木下真弥
- 長瀨琉空 本田光
- 佐々木紹美 橋本樹輝
- 小澤紗和 岩間瑞葉
- 岩本安司 渡邊禮
- 東晃世 伏見咲弥
- 早川柚季 上林周人
- 大谷鈴永 鈴木結菜
- 足立美鈴 尾曲唯多
- 長谷川純香 山口隼暉
- 道明蒼葉 鈴木卓良
- 山本英奈 原田椋嘉
- 吉田泰志 波多野利彩
- 松浦千祈 仁木大翔
- 岸美美花 和久田伶央
- 樋口月柳 浦上侑大
- 倉持俊希 河口みちる
- 池田快理 伊藤匠海
- 古津曉都 小俣玲太
- 七里将志 秋山珠寿
- 広重恰花 岩淵夏愛
- 内野貞緒 美下ひかる
- 三井義浩 木里沈介
- 石崎凛 千野稜介
- 加藤漂菜 濱谷英汰
- 山崎葵衣 酒井正寛
- 塚本陽斗 三原悠嘉
- 佐藤秀伸 清水美織
- 児玉颯大 味岡茜
- 吉田美羽 高橋朋希
- 山田明凛 高橋朋希
- 伊藤紗夏 林洗希
- 鈴木新快 三宅亜利紗
- 大野すづ 中村若
- 齊藤颯真 中村結月
- 西口優 中村維吹
- 飯泉優 荻原楓
- 飯丸七瑠 松原一風
- 石濱陸 吉原柚希
- 足立瀬奈 神代彩世
- 桐原優佳 岡田果珠那
- 白石翠香 守隨晴一
- 柳原製緒奈 井上晴子
- 津野ゆずき 鈴木朝陽
- 津野ゆずき 鈴木朝陽
- 竹下大智 松村柚杷
- 早瀬碧人 小山田彩香
- 外岡詠太 武俊之介
- 石毛柀吏 種子田亮
- 関悠真 小早川詩
- 佐藤広梧 駒谷桜杏
- 馬島蓮 曾根颯斗
- 新内悦之 矢ヶ崎葵音
- 池添碧華 天川伶
- 中島実咲 渡辺岳
- 中島碧仁 西山大翔
- 市川葵若 松下瑠璃
- 木下真弥 川鍋衣未留
- 本田光 太田莉緒
- 橋本樹輝 鍵山丞生
- 岩間瑞葉 堀川なつめ
- 渡邊禮 伏見咲弥
- 鈴木結菜 上村周人
- 尾曲唯多 清水結月
- 山口隼暉 岡水良太
- 鈴木卓良 桑岡良太郎
- 原田椋嘉 土屋稜詩
- 波多野利彩 吉田晴音
- 仁木大翔 中井湊翔
- 本多澄羽 村山日菜
- 大平朝陽 吉田千種
- 佐藤楓 須岡暢
- 古橋暢旺 須原光樹
- 井上絢斗 八島暖
- 千原蒼波 藤田松吏
- 瀬尾すみれ 手嶋諒哉
- 三森士慈 米澤聖
- 善家涼平 東朔久
- 柴田聡央 岩間二千汰
- 地盤聡隼 黒岩かずさ
- 長場いと 山田留生
- 関口杏香 横尾双葉
- 磯部夏 星野航希
- 加藤深結 竹内祐詩
- 坪島未桜 下青木洗誠
- 藤森美日子 磯田夏蓮
- 笠原日菜 田中朱璃
- 屋良一澄 今瀬ひなた
- 長岡茉那 西河稜貴
- 大熊優斗 池田紗衣
- 藤田すみれ 大宮蘭
- 近藤颯優 谷崎想真
- 長谷川稀子 三浦柚乃葉
- 清水晴晴 望月蒼太郎
- 原嶋章玖 高橋優月
- 山田悠一郎 岩間葵葉
- 橋本滂乃 高橋慶
- 小谷城杏南 高橋慶
- 金枝杏南 高橋慶
- 神道夏生 榎原梨瑚
- 小椋蓮斗 内村優杏
- 泉杜風 小田乃乃
- 日比清乃 広川蒼真
- 渡邊碧真 三原愛斗
- 森琉偉 吉田温
- 石渡凌太郎 中村太一
- 柿沼優汰 寺師桔乃
- 越坂航大 丸山愉逸
- 高橋一木 中田咲千
- 中川内翔 藤田真歩
- 荒野音澄 堀内才
- 秋月榿 平田瑛聖
- 岩上柚葉 岡田心花
- 大谷柚 五十嵐英麻
- 小林美陽 西岡英菜
- 小池新夏 中内菜里
- 北見かりん 馬場凰嘉
- 真鍋唯 堀内花怜
- 真鍋想和 野澤花怜
- 堀内時愛 神田兵賢
- 樋口莉愛 酒見智也
- 瀨内郁芭 太田祥一朗
- 横山一颯 小林凱
- 小川千種 戸塚詩
- 吉田千種 窪田光乃
- 須原光樹 小泉裕洋
- 八島暖 岩佐悠良
- 藤田松吏 志賀合奈
- 手嶋諒哉 川村太洋
- 米澤聖 杉本朝瑠
- 東朔久 伊土玲那
- 岩間二千汰 菅七袖
- 黒岩かずさ 渡邊堅心
- 山田留生 森
- 横尾双葉 山口陽大
- 星野航希 川口環大
- 竹内祐詩 室井理玖
- 下青木洗誠 山本瑛太
- 磯田夏蓮 市川菜
- 田中朱璃 白濱香帆
- 今瀬ひなた 森田紗衣
- 西河稜貴 福永理介
- 池田紗衣 山本陽咲
- 大宮蘭 長松想真
- 谷崎想真 渡邊陽彩
- 三浦柚乃葉 白桃くるみ
- 望月蒼太郎 高木楓葵
- 高橋優月 藤上椋聡
- 岩間葵葉 矢島えみり
- 高橋慶 綾部花
- 榎原梨瑚 西彩芭
- 内村優杏 閑悠
- 小田乃乃 奥平瑠楠
- 広川蒼真 小西尾那
- 三原愛斗 岩澤楓
- 吉田温 富田珊
- 中村太一 平山絢翔
- 寺師桔乃 鈴木寛拓
- 丸山愉逸 高橋健人
- 中田咲千 北澤優衣
- 藤田真歩 若山晋士
- 堀内才 山本依菜
- 平田瑛聖 高西佑
- 岡田心花 車谷肇
- 五十嵐英麻 齋藤洗希
- 西岡英菜 西出晴秋
- 中内菜里 神田雅文
- 馬場凰嘉 高崎楓
- 堀内花怜 中野悠月
- 野澤花怜 安齋稜晴
- 神田兵賢 丸尾僚
- 酒見智也 三原田梨夏
- 太田祥一朗 今関康士郎
- 阿曾颯 松崎咲奈
- 宮川桂 佐々悠逸
- 栗林結菜 高島悠太
- 吉永結美 三好藍央衣
- 富樫琴音 吉岡和華
- 板東美希 新藤湖斗羽
- 佐藤英穂 白石健
- 松川雅 對馬雪仁
- 藤本千穂 對馬雪仁
- 松崎風菜波 長田尚大
- 江釣子暖奈 小野深人
- 本田大和 橋本ひなの
- 山田維仁 江尻朝陽
- 浅子りみ 中村咲奈
- 岩波清菜 南館奏汰
- 福島朱莉 高橋礼佳
- 田島青昊 小島壮一郎
- 酒井雄平 南雲合雄
- 伊藤唯斗 高橋菜穂
- 菅原唯斗 宮前青旺
- 栗林結菜 竹林結汰
- 吉永結美 竹本浩志
- 富樫琴音 吉岡和華
- 板東美希 新藤湖斗羽
- 佐藤英穂 白石健
- 松川雅 對馬雪仁
- 藤本千穂 對馬雪仁
- 松崎風菜波 長田尚大
- 江釣子暖奈 小野深人
- 本田大和 橋本ひなの
- 山田維仁 江尻朝陽
- 浅子りみ 中村咲奈
- 岩波清菜 南館奏汰
- 福島朱莉 高橋礼佳
- 田島青昊 小島壮一郎
- 岩崎光樹 虎谷零
- 狐塚真翔 岡田茉莉
- 富居柚木乃 栗原詩
- 三野莉太郎 中山心琴
- 齊藤詩苑 藤田山
- 深野紗永 山中日桜莉
- 吉村琴舟 嶋崎奏斗
- 對馬雪仁 岩田悠人
- 谷口琴羽 吉田悠磨
- 宮脇大嘉 二宮乃暖
- 帝釋心結 東禪
- 岡田悠助 吉川伶利
- 菅嶋日和 藤居明希
- 藤井咲里 佐藤亨哉
- 赤星伶 細山田花南
- 尾崎連 平田采
- 奥原傑

もり
緑豊かな都心の杜で
絆深める和婚式

成人式 卒業式
 写真・着付美容・衣装
 初宮饗膳(ご会食)など
 承ります。

清涼殿 03(3312)7515

結婚式挙式者芳名(敬称略)
 (令和3年9月1日~12月31日)

毛利 義征・さや佳
 島田 圭悟・あさ海
 伊藤 元貴・綾
 飯高 睦昇・絵莉聖
 岩崎 貴喜・このみ
 高木 俊克・晃

- 酒井雄平 南雲合雄
- 伊藤唯斗 高橋菜穂
- 菅原唯斗 宮前青旺
- 栗林結菜 竹林結汰
- 吉永結美 竹本浩志
- 富樫琴音 吉岡和華
- 板東美希 新藤湖斗羽
- 佐藤英穂 白石健
- 松川雅 對馬雪仁
- 藤本千穂 對馬雪仁
- 松崎風菜波 長田尚大
- 江釣子暖奈 小野深人
- 本田大和 橋本ひなの
- 山田維仁 江尻朝陽
- 浅子りみ 中村咲奈
- 岩波清菜 南館奏汰
- 福島朱莉 高橋礼佳
- 田島青昊 小島壮一郎
- 岩崎光樹 狐塚真翔
- 岡田茉莉 栗原詩
- 中山心琴 藤田山
- 山中日桜莉 嶋崎奏斗
- 岩田悠人 吉田悠磨
- 二宮乃暖 東禪
- 吉川伶利 藤居明希
- 佐藤亨哉 細山田花南
- 尾崎連 平田采
- 奥原傑

戌の日早見表
 (令和4年1月~5月)

1月	9日(日)	21日(金)
2月	2日(水)	14日(月)
3月	10日(木)	22日(火)
4月	3日(日)	15日(金)
5月	9日(月)	21日(土)
		27日(水)

は大安の日です



戌の日詣りは 聖母大神・子育て八幡さまの当宮で 安産祈願祭を!

※戌の日以外でも随時お受けしております
 ご祈願の方には安産腹帯(天宮八幡息長帯)と共に、へその緒で結ばれたお母様とお子様健康にご出産の時を迎えられますようにとの願いが込められた「母子緒守」と「安産祈願給馬」を特別に授与しております。



すがすが
新春にはご祈願をお受けになり、清々しい1年に致しましょう
 (新春初祈願祭は、2月3日の節分までご奉仕致します。)



新春初祈願祭受付



参列席を拡張しています



新年のお守りを受けます

(祈願祭受付及び授与所は感染対策として、透明ビニールのカーテンを下げ、職員はマスクを着用させていただきます。)

おわびと訂正
 前号(大宮 第122号 令和3年秋の大祭号)にて以下の誤植がございました。訂正し、お詫び致します。
 2頁 宮司巻頭言
 公益社団法人日本馬術連名↓
 公益社団法人日本馬術連盟
 6頁 東京都八幡宮 奉祀神社神威
 景仰祭 総会並びに研究会
 佐渡近尚氏↓佐波近尚氏



大宮八幡宮のInstagram
 当宮ではInstagramで境内の写真や行事などの写真なども公開しております。

スマートフォンからは、左のQRコードを読み取ってご覧頂けます。



スマートフォンからは、左のQRコードを読み取ってご覧頂けます。

大宮八幡宮オンライン授与所
 大宮八幡宮のホームページでは、コロナ禍や遠方に在住されているなど、やむを得ず当宮にお越しになれない方のためにオンライン授与所を開設しております。他にも祭典・行事の情報や、当宮の新型コロナウイルス対策の情報を発信しております。スマートフォンからもご覧頂けます。



大 宮 第122号
令和4年新春号
 令和4年1月1日発行
大宮八幡宮社務所
 〒168-8570
 東京都杉並区大宮2-3-1
 電話(3311)0105 FAX(3318)6100
 Mail : info@ohmiya-hachimangu.or.jp

